

# みや わか

市議会だより



大健闘ニューイヤー駅伝準優勝

## 12月定例会

審議結果報告	2
12月の議会で可決された意見書	3
委員会報告	4~6
市長報告	7
視察研修の受入れ	8
一般質問	9~13
編集後記	13
平成25年成人式・ニューイヤー駅伝2013	14

# 審議結果報告

## 12月定例会

議案番号	件名	議決の結果
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	全員賛成 適任
承認第3号	専決処分の承認について	全員賛成 承認
議案第52号	民事調停の申立てについて	全員賛成 可決
議案第53号	財産の取得について	全員賛成 可決
議案第54号	宮若市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
議案第55号	宮若市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
議案第56号	福岡県市町村災害共済基金組合規約の変更について	全員賛成 可決
議案第57号	福岡県市町村災害共済基金組合の解散について	全員賛成 可決
議案第58号	福岡県市町村災害共済基金組合の解散に伴う財産処分について	全員賛成 可決
議案第59号	平成24年度宮若市一般会計補正予算(第3号)について	全員賛成 可決
議案第60号	平成24年度宮若市水道事業会計補正予算(第1号)について	全員賛成 可決
議員提出議案第7号	道の駅の建設を求める意見書	全員賛成 可決

議案番号	請願及び陳情	議決の結果
24年請願第1号	介護職員処遇改善加算の継続・拡充を求める請願書	継続審査

※今回、賛否の分かれた議案はありませんでした。

### 12月定例会

#### 平成24年度宮若市一般会計 補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ3億2,419万5千円を追加して、予算総額を179億9,424万9千円とするものです。

歳入の主なものは、交通安全施設等整備事業費補助金2,000万円の追加で、通学路の緊急合同点検の結果を踏まえた、交通安全施設の整備を実施します。また、介護基盤緊急整備事業費補助金7,875万円、介護施設開設準備等特別対策事業費補助金1,620万円の追加で、グループホームの施設整備を実施する事業者に対する県の補助金が市の予算を通して交付されるものです。他に市町村災害共済基金積立金返還金を2億757万2千円追加しています。

歳出の主なものは、財政調整基金積立金9,815万1千円、介護施設等の整備及び開設準備等事業費補助

9,495万円、通学路安全対策施設整備費4,000万円、市町村災害共済基金借入金繰上償還金9,999万円の追加などです。

全員賛成で可決

補正前の予算額	176億7,005万4千円
補正額	3億2,419万5千円
補正後の予算額	179億9,424万9千円

#### 人権擁護委員の候補者の推薦について

人権擁護委員の候補者として次の方を適任としました。人権擁護委員とは、法務大臣から委嘱をされ、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護する活動を行う人たちです。

立花 法代氏(再任沼口)

全員賛成で適任

## 12月の議会で可決された意見書

### 道の駅の建設を求める意見書

宮若市では、住民自治の基本計画となる「第1次宮若市総合計画」を策定し、その計画に基づき、様々な施策の展開を図られているところである。

その計画の基本的施策の方向の中で、「活気にあふれる多様な産業と交流のまちづくり」として、農業観光振興センターの整備を位置付け、ドリームホープ若宮、脇田温泉、西鞍の丘総合運動公園、スコレ若宮を囲む地域を農業・観光・健康のふれあう交流拠点とし、直売所や観光協会と連携を図っていくことにしている。

これら、農業観光振興センターの整備は、観光客及び観光収入の増加、或いは、生産者の更なる生産意欲の向上、並びにそれに比例する新たな就農者の確保にも繋がり、本市の目指す、農業と観光のまちづくりに大いに寄与するものと期待される。

以上のことから、農業観光振興センターを道の駅として早急に整備するために、平成25年度に必要な措置を講じられることを要望する。

提出先  
宮若市長

## 総務委員会

委員長 中島 健三

### 専決処分の承認について

衆議院の解散に伴い、早急に選挙事務に取り掛かる必要があるため、議会を召集する時間的余裕がなく、平成24年11月19日に宮若市一般会計補正予算の専決処分をしたためその承認を求めるもので、主な内容は人件費やポスター掲示板設置の委託料などです。

執行部から、「金額については、法



選挙ポスター掲示板

律の基準に従っている。基準額があり、都市部は補正され、基準から金額が上がったりする。前回の参議院選挙では実際の経費より減額されている。」との説明がありました。

また、「ポスター掲示板の設置は、シルバー人材センターに委託している。」との説明もありました。

補正前予算額  
176億5,446万7千円、  
補正額  
1,558万7千円  
補正後予算額  
176億7,005万4千円

全員賛成で可決

### 財産の取得について

宮若市土地開発公社が長期保有している「小金原総合運動公園用地」の土地の取得について、議会の議決を求めるものです。

取得する土地の内容は合計4筆、面積は26,729㎡の土地を、1億4,533万2,897円で取得するものです。

執行部からは、「旧若宮町で総合運動公園の予定地だったが、乙野地区に西鞍の丘総合運動公園を建設し、合併後は東部総合運動公園も毛勝地区に作つたため、総合運動公園用地としての利用の必要がなくなった。また、インフ



小金原総合運動公園用地

ラ整備が出来ていない用地であるため、住宅用地や公共的な整備は困難である。現状での売却が一番いいが、メガソーラーの引き合いもあり、貸す方向も考えている。貸す場合は基本的には今の状態のまま貸す予定である。」との答弁がありました。

また、取得した時の金額や補償費と議案の買取価格とは差については、「事務費が5%で、692万615円かかっている。」との説明がありました。

全員賛成で可決

### 平成24年度宮若市一般会計補正予算(第3号)

質疑では、債務負担行為の内容や防犯灯のLED化等について質疑がありました。

執行部からは、「防犯灯に関しては、平成22年度68カ所、23年度71カ所、24年度133カ所で24年度も残り3カ所で申請も考えられる。LED化は交換手間や電気代の関係で九電から自治会に勧められている。」との説明がありました。

他にも、繰越明許費についての質疑があり、執行部からは、「東部総合運動公園は東日本の震災の関係で補助金の遅れがあった。道路橋りょう費は点検個所が61カ所、2,000万円が国の予算費から出る予定である。」との説明がありました。

全員賛成で可決

## 教育民生委員会

委員長 塩川 恭子

### 宮若市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

これまでに市長報告がなされている通り、宮田中学校と宮田光陵中学校を



建設中の宮若東中学校

て、「平成25年4月の開校に間に合うか。」と懸念する声があり、子どもたちが安心して通える状態で開校されるようお願いしました。

全員賛成で可決

### 介護職員処遇改善加算の継続・拡充を求める請願書について

福岡医療労働組合連合会から、介護職員処遇改善加算の継続・拡充を求める意見書を国に提出してほしいという趣旨の請願書です。

審査時期が、国政選挙中であつたため、意見書を出すとしても、時期が適当でないとして、閉会中も継続して審査すること決しました。

継続審査

### 平成24年度宮若市一般会計補正予算(第3号)

今回の補正は、人事異動に伴う人件費の増減がほとんどでしたが、人件費以外の補正の主なものは、地域包括支援センターが市へ移行されることに伴う事務所の改修費で、電話設置とパーテーション設置の工事費51万円や、本年度に市内3カ所で整備を行う予定の、地域密着型「認知症高齢者グループホーム」の施設整備及び開設準備等に対する補助金9,495万円の増額補正です。

地域包括支援センターの移転費用について質疑があり、執行部からは「市民の利便性と、係の連携を考えて、現在の旧保健センター内より、本庁舎内に持ってきたほうが良いとして、情報

全員賛成で可決

- ① 福岡県市町村災害共済基金組合規約の変更について
- ② 福岡県市町村災害共済基金組合の解散について
- ③ 福岡県市町村災害共済基金組合の解散に伴う財産処分について

①は福岡県市町村災害共済基金組合の解散に伴う事務の継承のため、組合規約を変更するもので、福津市の承継業務として処理するものです。②は、基金組合を解散するためのもので、③は基金組合解散に伴う財産処分です。

執行部からは、「国の制度充実により基金組合解散の方針が出された。国の制度の充実された内容は、国庫補助の残りは起債が可能で、起債のうち95%は交付税で措置される。現在この制度があるのは、全国でも福岡県、北海道、山口県しか存在しない。今回の補正予算でも計上しているが、積立金の返還金約2億円については、1億円は借入に伴う一括返済となるので、残りの1億円は財政調整基金に積み立てて対応する。」と説明がありました。

3議案ともに全員賛成で可決

公開室の一部に整備をする。」との回答がありました。

3つのグループホーム整備の補助金についての質疑では、「以前、整備したグループホームには市からの補助は無かった。不平不満は出なかったか。」との質疑があり、執行部から、「平成21年度から始まった福岡県介護基盤緊急整備補助金を活用して行うもので、過去3年間はグループホーム施設整備が無かった。既存のグループホームから、市に対して質問状が出されたが、市から回答書を出し、理解を得ている。」との答弁がありました。

また、「市は、今後も施設整備に補助金を出すのか。」との質疑には、「介護保険事業計画による今後3年間のグループホームの整備計画が、鞍手地区で3カ所であり、鞍手町と小竹町で要望が無かったため、宮若市が今回3カ所を申請できたものであるから、今後2年間は、予定は無い。」とのことでした。

そのほか、「健康づくり事業や介護予防事業で返還金があるが、積極的な事業展開がなされていないのではないかなるべく返還しなくていいよう、高齢者のために使ってほしい。」との要望もありました。

民事調停の申立てについて

市営住宅家賃の納付指導に応じない者、13名に対し、民事調停の申立てを行うものです。

質疑の主なものとしては、「かなり大きな額の滞納があるが、どうしてなのか。」という質問に対し、「基本3カ月以上の滞納が続いた場合、民事調停の申立てを行うために、滞納が3カ月以上続かない場合は、申立てを行っておらず、今回、法的な手続きにのっとり、きちんと支払いの誓約を結びたい。」との回答が執行部よりありました。

また、意見として、保証人制度の確立をすべきであるとの意見が委員より出されました。

全委員賛成で可決

宮若市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

耐用年限を経過している下有木団地の家屋解体による管理戸数の変更に伴う、条例の一部改正です。

質疑の中で、下有木団地の空家状況の質問が行われ、「現在9戸の家屋があり、長屋であるために、長屋自体がすべて空家にならないと解体が出来な

い。」とのことでした。

全委員賛成で可決

道の駅の建設を求める意見書

今回の議案については、提案者への質疑の中で、施設の早期着工に向けた取り組みの要望との確認を行っているところから、「即決でもいいのではないか。」との意見も出されましたが、執行部の考えを聞きたいとのことになり、執行部の同席のもと審議を行いました。

執行部より、「農業観光振興センターの整備を行うが、その施設を今後道の駅として整備すべきかどうか検討していかねばならない。」との考えが示されました。

また、「道の駅として整備した場合、



筑前町ファーマーズマーケット みなみの里

今後は、地域包括ケアの発展向上を推進する支援センター組織として、更なる事業の展開及び強化に努めます。

市長報告 2

福岡県広域森林組合設立の報告について

県内21の森林組合は、国、県の指導のもとに、「1県1森林組合構想」に向けた組織再編に取り組んでおり、西鞍手森林組合も、合併基本構想をもとに組合総代会における普及啓発活動や、組合員に対する説明会等が行われました。

また、福岡県森林組合組織再編研究会及び検討委員会において協議を重ねた結果、不参加を表明した10の森林組合を除く11の森林組合で合併推進協議会を立ち上げ、平成24年11月1日に「福岡県広域森林組合」を新設する旨の合併準備契約を取り交わす調印式が行われました。

合併後は、篠栗町の糟屋地区を「本店」として、福岡西・福岡南・福岡北・嘉飯山の各地区に支店を配置することとしており、西鞍手森林組合は、福岡北支店の事務所となり、支店内に宗像支所及び岡垣支所を配置する計画となっております。

24時間開放したトイレと駐車場が条件であり、そういったものが、現状必要であるかどうか。」との意見もありました。また、12月11日には、道の駅としてではなく、農産物の直販施設である筑前町の「みなみの里」へ、行政視察に行きました。

全委員賛成で可決

平成24年度宮若市一般会計補正予算(第3号)

農林水産業費については、人事異動に伴う人件費の補正、及び市内畜産業者への太陽光発電設備設置補助などの補正です。

主な質疑としては、「市内に何軒の畜産業者があるのか。」との問いに、「4軒あり、今回の補助金の申請には2軒の申請があった。」とのことでした。

商工費については、人事異動に伴う人件費の補正のみでした。

土木費については、人事異動に伴う人件費の補正、通学路の緊急合同点検を踏まえ、国の予備費を活用して実施する交通安全施設等整備事業費補助金で宮田、三坑線の道路改良、及び市内小学校の児童の安全通学確保のための各種工事、また、乙野団地において来年度に新しく掘る井戸の調査及び井戸の水質検査、及び火災にあった鍋田団地の解体費と延焼部分の工事費としての補正です。

質疑では、「宮田、三坑線を線越す理

由は。」との質問が行われ、「今回の予備費対応は、国県からの調査依頼があり、線越事業として実施するのが前提であった。」との回答がありました。

その他、安全通学については、「歩道の精査をしたのか。」との問いについては、「8月1日から22日の間、教育委員会をはじめ関係各課、学校、警察等合同で現地の洗い出しを行った。」とのことでした。

その他の意見として、「通学路としてではなくて、道路自体の安全を確保すべきである。」との意見も出されました。また、「今後も道路の維持管理については、しっかりと予算要求をして欲しい。」との意見も出されています。

さらに、井戸水の調査に関しては、今後の検討課題として、乙野団地までの水道の給水体制の整備について意見等が出されています。

全委員賛成で可決

平成24年度宮若市水道事業会計補正予算(第1号)

人事異動に伴う人件費の補正、及び「神ノ隈、生見浄水場統合整備施設設計業務」について、国庫補助事業を活用する予定が、国の予算不足等の理由により、本年度の新規事業については採択されず、平成25年度当初予算に改めて予算要求することとしたための減額補正です。

全委員賛成で可決

市長報告

市長報告 1

地域包括支援センターの移行について

地域包括支援センターは、介護保険法により、地域住民の保健・福祉・医療の向上や虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う行政機関として、市町村に設置することができるとされており、平成24年4月の介護保険法の改正において「地域包括ケアシステム」が推進される中、特に医療・住まいのサービス提供については、現状の支部ごとの運営では十分な対応ができない状況となっています。

このため、福岡県介護保険広域連合では、第5期介護保険事業計画で、地域包括支援センターの設置を、従来の支部単位から構成市町村に順次移行することとしており、本市では、平成25年4月1日からの移行に向けた準備を行っています。

地域包括支援センターの開設場所につきましては、市民の利便性や関係所管との連携を図るため、本庁舎の情報公開室の一部を活用します。

市長報告 3

民事調停の報告について

新組合の正式な合併期日は、平成25年4月1日を予定していますが、今回参加を見送った森林組合においても、継続して協議を重ねていきます。本市としては、「自然と共生したま

ちづくり」の観点からも、森林保全の重要な役割を担う森林組合として、より一層の連携を図ることが必要と考えています。

市長報告 4

宗像市外2市1町鳥獣加工処理施設の運営等に係る協定の締結について

平成24年6月定例議会で議決を得ました民事調停対象者10名のうち、7名が完納又は不履行分を納付され、2名が調停成立、1名につきましては調停に出席せず不成立に終わっていました。今後とも、家賃等滞納者に対し滞納解消に向けた納付指導を行います。

市長報告 5

宗像市外2市1町鳥獣加工処理施設の運営等に係る協定の締結について

宗像市外2市1町鳥獣加工処理施設は、宗像市・福津市・宮若市・岡垣

町で構成する宗像市外2市1町有害鳥獣対策広域連絡協議会が、当該区域の有害鳥獣の捕獲推進と捕獲後の円滑な処理を図ることにより、農林産物等の被害防止と地域住民の安全を確保することを目的として、宗像市に建設中で、平成24年11月22日に「宗像市外2市1町鳥獣加工処理施設の運営等に係る協定書」の締結式が行われました。

建設事業費は、概算事業費が約1億700万円で、本市の建設負担金は、約450万円です。

また、施設の管理運営は、生産組合を設立し、残渣の保管、加工及び販売等の運営を委託することで協議が進められています。本市は加工・販売には参加せず、捕獲後の残渣処理のみを依頼することとしています。

今後は、平成25年1月に竣工式典を実施し、同年2月1日から運営開始予定で、本市の本年度運営負担金は約20万円程度で、負担金額は年度末の実績重量に応じて精算されることになっています。

本市としては、捕獲した有害鳥獣の処理に本施設を活用することで、今後の農林産物等の被害防止と地域住民の安全確保に努めたいと考えています。

**市長**  
九州観光推進機構及び九州運輸局では、東日本大震災や歴史的円

**問** 「オルレ」という言葉の意味は、韓国済州島の地方の方言で、「家に帰る小さな細い道」という意味で、現在、韓国の済州島では、長い小道をゆっくりと時間をかけて、景観を楽しみながら歩くと言ったトレッキングが大ブームとなっていますが、「九州オルレ」コース（第2次）選定のため県を通じて九州観光推進機構から本市へ問い合わせが来た事はあるか。



中尾 ハギ子

観光の推進について伺う。

高の影響で落ち込んだ韓国人旅行者の客足回復のため、韓国・済州島のトレッキンググループを受けて、「済州島オルレ」の姉妹版となる「九州オルレ」を平成24年2月、佐賀県・大分県・熊本県・鹿児島県に設定しました。福岡県においても、平成24年5月に第2次

のコース候補地の提案募集がありました。本市においては、15キロ前後を子供やお年寄り、女性一人でも安全で安心して歩けるコース設定など、9項目にわたる選定条件に沿ったコースの設定が難しいことから、応募を見送っています。



九州オルレ奥豊後コース

**問** 放置竹林について。  
**市長** 本市では平成20年度より森林環境税を原資とした荒廃森林再生事業により健全な森づくりに向けて取り組みを進めています。しかし、この事業で対応可能な竹林対策は、未整備森林に侵入した竹を除去することに限定されており、質問の放置竹林の整備対策に直結するものとはなっていません。このようなことから、本市としては、福岡県市長会総会や福岡県議会農林水産委員会管内視察において、民有林全般の竹林の整備及び竹の有効活用を



和田 善久

行政運営について伺う。

めた制度の見直しを要望しています。森林が有する水源のかん養、土砂災害の防止等、公益的機能の重要性に鑑み、今後も造林保育事業や荒廃森林再生事業に取り組みながら、未整備森林の整備に努めます。

**問** 福岡県市町村災害共済基金組合の解散に伴う返還金の使途について。  
**市長** 本返還金は、今議会の一般会計補正予算に計上されています。おり、同組合からの借入金の上償還の財源とするほか、その残余金について、財政調整基金への積立を行なっています。

**問** し尿処理施設あり方について。  
**市長** し尿処理施設「緑水園」は、平成9年2月に宮田・若宮衛生施設組合により建設され、現在、約15年が経過しています。緑水園は、日常的な点検や定期的なオナーホールを含めた修繕工事や受入槽等の清掃や汚泥処分を実施することにより、安定した処理事業を行っています。しかし、今後のし尿処理施設のあり方につ

他市町村議会からの視察研修を受け入れています。

市議会では県内外からの視察研修の受け入れ対応をしています。平成24年は県内外から8議会の視察を受け入れました。昨年は認定こども園についての視察が多く、他の自治体も子育て支援について、様々な取り組みを検討されているようでした。視察の中ではお互いの議会の情報交換も行い、他議会の情報収集にも努めています。

日付	受け入れ市町村議会名	視察内容
1月26日	三重県名張市議会	認定こども園について
2月7日	福岡県嘉麻市議会	火葬場について
5月29日	兵庫県福崎町議会	地域担当制について
7月11日	福岡県八女市議会	定住奨励金について
10月3日	徳島県三好市議会	認定こども園について
10月19日	愛知県清須市議会	認定こども園について
10月31日	埼玉県志木市議会	市の広報について
11月13日	熊本県菊陽町議会	認定こども園について



愛知県清須市議会 認定こども園視察



福岡県嘉麻市議会 火葬場について視察



障がい者支援対策について。



藤嶋 厚

精神障がい者対策についての実情はどうあるのか。行政としての支援策、対策について。

として、精神に障がいのある人を含め、介護者及び支援者等のあらゆる相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行っているところ。精神に障がいのある方は、ストレスへの対処がうまくできず、コミュニケーションが苦手な方も多くおられますので、本市としても、今後とも、障がいの状態や程度等を勘案しながら、必要な支援等を行います。

障がい者福祉サービスとしては、障害者自立支援法に基づくホームヘルプサービス等の訪問系サービスをはじめ、共同生活を行う住居で日常生活上の援助が受けられるグループホーム等への入居や、就労に向けた支援を行う訓練等給付など、必要に応じて各種サービスの提供を行っています。また、相談支援業務



茅野 勝

職員の賃金を含めた施設の年間の管理運営費の見込み額について。

9月の定例議会で答弁した年間経費5,700万円は、施設の整備に伴う電気使用料等の光熱水費及び保守管理委託等の維持管理費の金額で、これに、施設の運営に必要な賃金(職員給与を除く)や図書購入費等6,800万円を加えた管理運営費は、年間約1億2,500万円となる見込みです。

第2露天掘内の用排水路の問題はその後どうなっているか。

事業者から福岡県に対し、埋立区域の変更

申請が行われているところで、今後長期にわたって埋立てが継続される中で、平成4年に締結された調停条項や、これに関連してこれまで本市との間で締結した契約の履行確保を図ることを基本に、用排水路の機能の確保・保全について、今後とも事業者及び地元関係者と協議を行います。

入札制度と検査体制工期等の指導はどの様に業者に指導通達しているのか。

業者に対する指導等は、毎年4月に行っている指名願受付の際に、入札契約に係る事務処理について書面にて通知するほか、年度中途においても必要に応じて指導等を行っています。また、工事の施工中における施工業者への指導は、福岡県の「土木工事施工管理のてびき」等に準じて、必要

な指示・指導を行っています。道路内民地の問題は現在どのように進めているか。

本市で管理している道路内には多くの民有地が現存しています。すべての道路内民地を一定期間で処理することは困難ですが、道路内民地と判明した時点で必要な手続を行いながら、可能な限り取得する方向で事務処理に努めています。

他に、「養護老人ホーム白寿園と現在、宮若市との関わりについて」、「原町の市有地売却の水道工事代金はどこが支払ったのか」、「公用車と職員駐車場の件はどのようなになっているのか」、「新中学校の開校に向けての環境整備はどのようになっているのか。」の質問がありました。

団地造成に伴う施設の整備について。



島本 昌典

定住施策の推進として、住宅団地造成事業を進められていくことにあるが、受け皿体制(保育所等)の整備は考えているのか。

交通や買い物物の利便性、或いは教育環境の充実など様々な要素が必要であると考える。当該地についても、定住環境を整備する上で、当然ながら保育施設等の整備も不可欠であると認識しています。今後、定住施策の推進に当たり、保育環境の整備をはじめとする住宅インフラの整備に、取り組まします。

市長

新たな定住施策として、光陵地区にある大規模遊休地を住宅団地として整備し、平成24年度策定する第一次宮若市総合計画 後期基本計画にも重点施策の一つとして位置付けることにしています。

定住施策を推進する上で低廉で快適な宅地の提供はもとより、下水道の供給をはじめ、



磯光地区の大規模遊休地

市議会会議録はホームページからも閲覧できます。http://kaigidb.city.miyawaka.lg.jp/dsweb.exe/

市議会を傍聴してみませんか。
次回の定例会は 2月28日(木) 開会予定です。
皆さんの傍聴をお待ちしています。
本会議・各常任委員会等の日程につきましては、日程が決まり次第、宮若市のホームページ、宮若市役所本庁及び若宮総合支所に掲示します。

Table with 2 columns: 議会広報調査特別委員会 members (委員長, 副委員長, 委員) and names (中尾ハギ子, 松尾幸主, 川口英史, 吉野恭子, 塩川恭子, 浜崎稔哉, 茅野勝).

編集後記
昨年末執行された第46回衆議院選挙は、29年ぶりの師走選挙となりました。
過去最多の12政党が乱立し大混戦となり、投票に戸惑う有権者も多かったようです。
何はともあれ、国会議員の皆さん、国民の声をしっかりと受け止め頑張ってください。
私たち市議会議員も残された1年余りの任期、これからも安全安心のまちづくりにしっかりと努めて参ります。
塩川 恭子



1区：井手上選手



2区：加藤選手



3区：小西選手

# ニューイヤー駅伝2013



4区：今井選手



5区：三津谷選手



6区：廣末選手

元旦の全日本実業団対抗駅伝においては、宮若市民の皆様をはじめとした多くの方々の支えとご声援のおかげをもちまして、準優勝を果たすことができました。今大会は故障者4選手を抱えた厳しいチーム状況でしたが、選手全員が持てる力を発揮し、目標以上の成果を見せてくれました。

皆様の期待に応えることで選手は成長します。もっともっと皆様に笑顔になってもらえるよう頑張っておりますので、今まで以上のご声援をよろしくお願いいたします。

トヨタ自動車九州株式会社  
陸上競技部監督 森下 広一

総合順位	チーム名	記録
1位	コニカミノルタ(東日本)	4:51:32
2位	トヨタ自動車九州(九州)	4:55:24
3位	カネボウ(東日本)	4:55:25
4位	Honda(東日本)	4:55:25
5位	中国電力(中国)	4:55:28
6位	SUBARU(東日本)	4:55:30
7位	トヨタ紡織(中部)	4:55:31
8位	トヨタ自動車(中部)	4:55:32

区間記録	出走選手	記録	区間順位
1区 県庁～高崎(12.3km)	井手上隼人	35:26	11位
2区 高崎～公田(8.3km)	加藤 泰智	24:04	26位
3区 公田～伊勢崎(13.6km)	小西 祐也	38:23	2位
4区 伊勢崎～太田(22.0km)	今井 正人	1:02:50	1位
5区 太田～桐生(15.8km)	三津谷 祐	46:58	2位
6区 桐生～西久保(12.5km)	廣末 香	39:15	24位
7区 西久保～県庁(15.5km)	酒井 拓也	48:28	19位